

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 517

事業名	保健衛生組織連合会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024			項	保健衛生費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	環境美化対策費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	まちづくりの目標		子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]		
	施策目標		ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる		

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市保健衛生組織連合会			構成人数(人) 18,182	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地域衛生組織の育成強化と活動体制の確立に関する事				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		1. 環境美化運動の推進(ゴミ減量化、リサイクル運動、不法投棄防止等) 2. 公害防止運動の推進。 3. 浄化槽適正管理の推進。 4. 一斉清掃の実施、夏と秋				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
		委員は21名=緑地域2名、西淡地域6名、三原地域6名、南淡地域7名が内訳				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生活環境課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ( )	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )
補助金算出根拠	ゴミ減量化、リサイクル運動に日々取り組んでいる事が何に繋がるかを、委員の方にリサイクル施設等を視察研修するマイクロバスの借り上げ及び兵庫県保健衛生組織連合会の県大会への参加費用等。					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から 合併前は三原健康福祉事務所が担当部局であったが、合併により事務局が南あわじ市になった。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	1,185	579	650	530
	保健衛生組織連合会補助金	1,185	579	650	530
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	1,185	579	650	530
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	1,185	579	650	530
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.1	0.0	0.0	0.0	
受益者人数(53,374)一人当り経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0	
経費に関する 補足説明	平成18年度補助金は当初635千円だったが、淡路ブロック保健衛生推進委員指導者研修会が中止になったので56千円が支出不用になり、補助金を返還した。平成17年度は南あわじ市で開催した。				

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 一斉清掃等は計画どおり実施されている。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 不法投棄の防止及びポイ捨て防止の為に市民意識向上に寄与する目的は十分に発揮している。	自己評価 (5点評価)
		3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 行事参加することにより、環境美化意識及びポイ捨て等の防止意識の向上が見られる。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果      必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>会の活動のうち環境美化運動などの公益的な活動のための経費について支援は必要である。今後とも経費節減の上、継続してこれまで同様の活動を行ってほしい。</p>	<p>三原地域、西淡地域、緑地域は自治会長が保健衛生推進委員を兼ねている。市民等が自主的に運動を展開し、地域の環境美化を推進していくことが望まれる。</p>
(現状維持以外の改善方法)	経費節減の上、継続して会の運営に努める。	
改善によって期待される効果	活動は継続しつつ予算節減となる。	
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>廃止した場合はリサイクル運動、ゴミ減量化が後退する。平成21年度から供用開始の南あわじ市リサイクルセンターは資源ごみのプラス1項目に取り組む手助けとなる委員が居れば平成20年度に自治会に向けての説明会が成功する。</p>	